

みらい

人を大切に、よい医療・やさしいケア・安心を
提供できる病院を目指します。

安来市立病院

〒692-0404

島根県安来市広瀬町広瀬1931

TEL 0854(32)2121 FAX 0854(32)2125

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/hospital/>



一人はみんなのために、
みんなは一つののために

安来市病院事業管理者 水澤 清昭

新年明けましておめでとうございます。皆さま、つつがなく令和2年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

東京で2回目のオリンピックが開催される本年は、日本にとって大きな節目の年になると思われれます。また、本年は「子年」にあたり、新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。

当院は人口約4万人の安来市の地域中核病院として、長年にわたり一般急性期医療への対応、救急告示病院としての救急医療の提供、地域医療拠点病院としての安来市内の無医地区への巡回診療などを行ってきました。しかし、市民の皆さまに当院を知っていただくという点ではまだまだ不十分であると感じ、昨年より情報発信に力を入れてきました。交流センター単位での出前講座「院長と語ろう！おじゃまします。水澤です。」の開催やどじょうこテレビでの「安来市立病院コーナー」の放送、また、病院広報誌「みら

い」の内容の見直しなどを行い、市民の皆さまに当院をよく知っていただき、身近に感じていただけるように努力してきました。今後も引き続きこの活動に力をいれていくつもりです。

昨年は、ラグビーワールドカップで日本中が大変盛り上がりました。ラグビーの用語に、「one for all, all for one」という言葉があります。一人はみんなのために、みんなは一つの目的（＝勝利）のために、という意味だそうです。当院に例えれば、職員一人ひとり病院のために、病院は患者さまや市民の皆さまの生命と健康のために全力を尽くす、ということとなります。当院も「ONE TEAM」になり、安来市民の皆さまから、さらに信頼される病院になれるように職員一同強くスクラムを組み、前進してまいりますのでご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして幸多き1年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今日のトピックス

- 病院まつり特集
 - ・ 写真で振り返る病院まつり…………… 2 ページ
 - ・ 特別講演「医療用麻薬について」玉川竜平医師…………… 3 ページ
- 部門紹介：地域連携室…………… 4 ページ
- おすすめレシピ「かぶとりんごの酢の物」…………… 5 ページ
- 日曜日がん検診のお知らせ…………… 5 ページ
- 診療案内…………… 6 ページ



水澤くん

田中くん

安来市立病院まつり2019

～ みんなでつなごう「地域」と「病院」の輪！～

10月27日(日)に開催した「第8回安来市立病院まつり」。

今年はラグビーワールドカップ日本代表のユニフォーム姿で登場した実行委員長のあいさつで始まると、病院ならではの趣向を凝らした催しを各ブースで行いました。

当日は晴天にも恵まれ300名の来場者で賑わい、参加者には様々な体験を通じて医療や病院への理解を深めてもらいました。



委員長あいさつ



ひろせ保育園



認定こども園ひろせ



広瀬中学校吹奏楽部



広瀬バンビーキッズ



こけないからだ体操



広瀬バンビーキッズ



院内探検ツアー：手術室



消防車の展示



体験コーナー

薬剤師体験



恒例の新人職員による司会



物販コーナー



病院まつり特別講演「緩和ケア講演会」

医療や病院への理解を深めてもらうことを目的として、病院まつりで講演会を行いました。

医療用麻薬について知っていただきたいこと

～正しく使えば怖くない～

麻酔科 玉川 竜平

がんの症状には発症した臓器特有の症状に加え、身体的苦痛（痛み、倦怠感など）、精神的苦痛（気分の落ち込み、悲しみなど）、社会的苦痛（仕事や家庭内の問題など）、スピリチュアルな苦痛（自分の人生への問いなど）があります。特に「痛み」は非常に苦痛であり、それによる不眠、食欲減退、不安、体動困難、集中力の低下などは生活の質を著しく低下させます。

がんの強い痛みに対して一般的な鎮痛薬（消炎鎮痛薬）が十分効かない時に、「医療用麻薬」を使用することがありますが、「麻薬」と聞くと多くの方が「怖いもの」という印象を受けられるのではないのでしょうか。



しかし、麻薬を使うと中毒になる、寿命が縮む、いつか効かなくなる、麻薬を使うのは末期の時だけ、などというのは誤った情報です。

がんと診断された早期でも強い痛みがあれば医療用麻薬を使用することがあります。痛みに対して適切な量の医療用麻薬を使う限り中毒になることはありません。投与量を増やすことができますがそれは効かなくな

ったからではなく、痛みが強くなったからです。もちろん医療用麻薬で寿命が縮まることはありません。

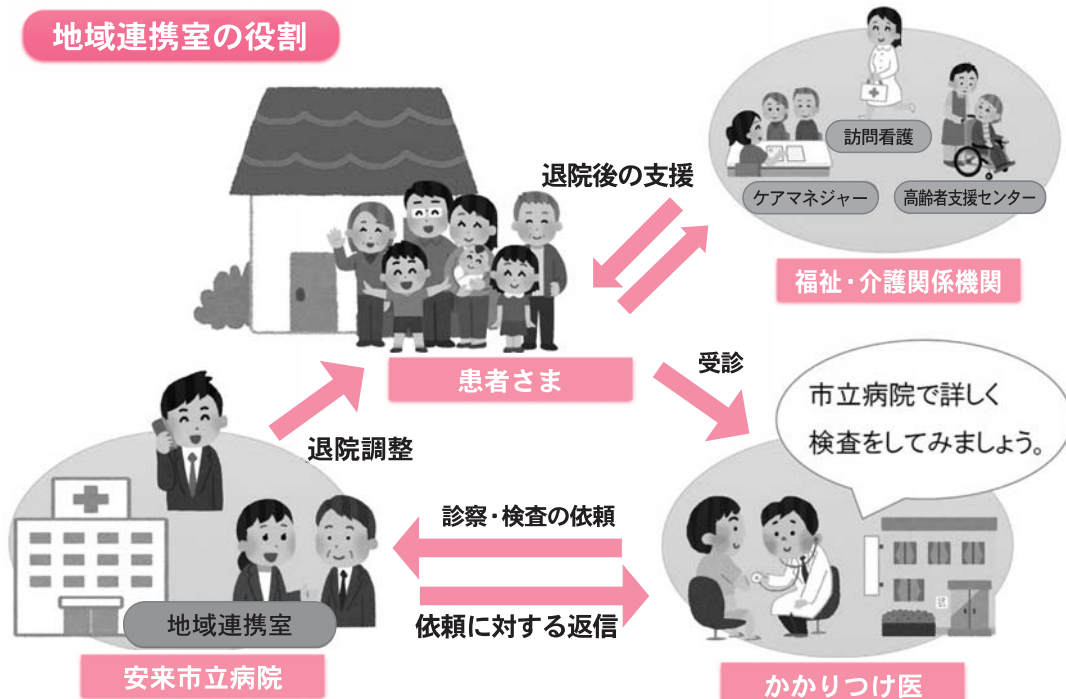
医療用麻薬には、その他の薬と同様に副作用があります。主な副作用は便秘、吐き気、眠気ですが、多くの場合対処できます。一般的な消炎鎮痛薬では「胃が荒れる」という副作用が有名ですが、医療用麻薬は胃の粘膜に障害を与えることはありませんので、空腹時に服用することもできます。その時痛みがあるかないか、食事の前か後かということに関係なく、決められた時刻に決められた量の医療用麻薬を服用することで、常に痛みがない状態を目指します。それでも痛みが出てきた時には「レスキュー」といわれる「追加薬」を服用することで、なるべく痛みのない状態を目指します。

医師の指示に従って正しく服用すれば医療用麻薬は安全であり、痛みによる苦痛を和らげる大切なお薬です。

近年国の医療政策により、ひとつの病院が全ての機能を持つよりも医療機関同士が得意な分野で機能を発揮、連携しながら「地域」内で医療が完結する体制が求められてきています。

具体的には、患者さま一人ひとは、普段はかかりつけ医での診察を受け、入院による検査や治療が必要な時には、かかりつけ医から適した病院を紹介してもらい診察を受けます。また入院治療中も、回復過程に沿い、より効果的な医療を受けるため、適した医療機関へ移ることが求められます。そこで病院と病院、かかりつけ医と病院との窓口となっているのが地域連携室です。

地域連携室の役割



【主な役割①】 他の医療機関からの紹介受付

病院での治療や検査が必要なときに、かかりつけの先生から紹介を受ける窓口が、地域連携室です。事前に紹介されることで、患者さまはスムーズに診察・検査を受けていただけるようになります。また、他病院からの転院の調整も行います。(ただし、患者さま本人からの診察の予約は承っていません。)

【主な役割②】 退院支援

患者さまとご家族の退院後の生活の不安や問題などについて、入院の時点から地域連携室の相談員が一緒に関わります。皆さまがよりよい選択ができるよう、地域の事業所や関係機関が提供するサービスについての情報提供、介護・福祉制度の説明や手続きのご案内なども行います。また、退院後のリハビリが必要な場合は、他の医療機関や介護施設等と連携をとりながら転院の調整も可能です。

【主な役割③】 相談

病気や怪我により、「体が不自由になった」「介護が必要」「入院費用や治療費が心配」など、今後の生活に悩まれる方もあるかと思います。そうした際の相談を受けるのも地域連携室の役割です。皆さまの不安や問題について、しっかりお話を伺いながら一緒に考えます。ご相談のある方は、まずはご連絡ください。



～地域連携室は、地域と病院を「つなぐ」部署です～

★栄養管理室おすすめレシピ★

寒い日が続きますね。
今回は、かぶを使用した酢の物をご紹介します。



かぶとりんごの酢の物

☆材 料☆		2人分
	かぶ	140g
	かぶの葉（飾り用）	少々
	りんご	40g
	すりおろしたりんご	40g
A	米酢	小さじ2
	うすくち醤油	小さじ1

(1人当たり：40kcal、塩分0.5g、食物繊維1.8g)

☆作り方☆

- ① かぶは皮をむき、大きめのいちょう切りにする。塩（分量外）をふって10分程度おき、洗ってよく絞って水気をきる。
- ② かぶの葉は、小さく刻んで鍋でさっと茹でる。
- ③ りんごは、大きめのいちょう切りにする。
- ④ ボールに、Aを入れて混ぜる。
- ⑤ ④に、①のかぶ、③のりんごをいれて混ぜ合わせる。
- ⑥ 器に⑤を盛り、②のかぶの葉を飾ったらできあがり♪

日曜日がん検診のご案内

「平日は忙しくて健康診断が受けられない」という方のために、日曜日がん検診を行っています。今年度3回目の検診を行いますので、是非この機会にご利用ください。

- 日 時 2月16日（日曜）9時～12時
- 会 場 安来市立病院内
- 予約開始日 1月10日（金曜）8時30分から

電話または来院のうえ、健康推進室までお申し込みください。

検診メニュー

- 脳MRI検査（診察はありません）
- 肺がん検診（胸CT撮影）
- 乳がん検診（マンモグラフィ撮影と視触診）
- 子宮がん検診
- 血液検査（腫瘍マーカー）



*無料クーポンを利用した風しん抗体検査も受けられます。

*検診結果は後日送付いたします。

乳がん・子宮がん検診は、安来市の受診券を利用して受けることも可能です。
各検査とも人数制限がありますのでご了承ください。

<お問い合わせ先…健康推進室（直通電話 0854-32-2085）>

外来診療案内

0854-32-2121 (代表)

※保険証は毎月の確認が義務付けられています。各種受付窓口での提示をお願いいたします。

新患の方・紹介状をお持ちの方

「新患・紹介受付」窓口へお越しください。

受付時間
 ◆各科 8:30~11:00
 ◆婦人科(火曜日) 8:30~16:30

下記項目に該当する方もこちらへお越しください。

- 診察券をお持ちでない方
- 保険証の変更があった方
- しばらく来院していない方
- 診察券はあるが初めての科を受診されたい方

再来の方
(リハビリ・注射・検査のみの方もこちら)

「自動受付機」受付時間
 ◆各科 8:00~11:30
 ◆婦人科(火曜日) 8:00~16:30


診察券を忘れた・紛失された方「再来受付」窓口へお越しください。

受付時間
8:30~11:00

急病の方(突然の病気やケガをされたとき)

まずは、病院へお電話ください。(救急車での来院の場合は除く)

急病の方は、受付時間や休診日に関係なくいつでも診療を行います。平日の夜間(17:15~)と休日は、宿日直医の診療となります。




小児科夜間救急(対応時間)
毎週木曜日 / 17:30~21:30

鳥取大学の小児科医師が週1回救急診療を行います。受診希望の方は21:00までに電話連絡のうえお越しください。

保険証・診察券のほかに持参するもの

- 普段飲んでいる薬(おくすり手帳)
- 母子健康手帳(乳幼児の場合)



令和2年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科	消化器内科	上田 直樹	今本 龍	上田 直樹	今本 龍	
	循環器内科	森 正剛	大学医	森 正剛	大学医	森 正剛
	循環器内科(予約制)			乗本 業文		乗本 業文
	腎臓内科		大学医			
	神経内科	大学医		田中 弘道		田中 弘道
	神経内科(予約制)	田中 弘道		入江 秀樹 【非常勤】 (第1週除く)		
	内分泌内科(予約制)	乗本 道子	大学医	乗本 道子	大学医	乗本 道子
外科(予約制あり)	菅村 健二	倉吉 和夫	菅村 健二	水澤 清昭	倉吉 和夫	
小児科			大学医		大学医 17:30~21:30 (要予約)	大学医
整形外科	一診(再診は全て予約制)	大森 敏雄	大森 敏雄		大森 敏雄	
	二診	賀川 武	賀川 武 (予約)	大学医 (一部予約)	賀川 武 (予約)	賀川 武
	三診	水村 浩之 (予約)	水村 浩之		水村 浩之	水村 浩之 (予約)
婦人科(予約制あり)			水田 正能 (診療13:30~)		野坂啓介(検診のみ) 【非常勤】	水田 正能 (診療午前中のみ)
麻酔科(ペインクリニック)	玉川 竜平					
泌尿器科			大学医	大学医	大学医	
皮膚科	大学医					大学医
形成外科					大学医	
眼科			大学医		大学医	
耳鼻咽喉科			大学医			大学医
専門外来	ストーマ(予約制)	外科 菅村 健二	倉吉 和夫	菅村 健二	水澤 清昭	倉吉 和夫
	もの忘れ(予約制)	田中 弘道		田中 弘道		
	呼吸器		松江医療センター 非常勤医師 (第1・3週)			

【診療開始時間】各科 9:00~ / 婦人科(火曜日) 診療時間 13:30~17:00

【予約】初診の方および当日の予約はできません

【休診日】土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)